

伊賀守に預られ大坂冬夏兩陣共に功勞あり、依之采地二百石加増にて三百石を領す、且壹万三千石代官を賜り、小幡又兵衛、織田家中野又兵衛、今川家吉兵衛、又兵衛に劣らざる者也、とて、又兵衛に改めらる。是は上林家之傳説なり。○中略

茶師姓名

林夕春 上林家八人 味卜 法順 竹庵 三入 通入 春生 龍賀 道庵

一宇治御茶壺御茶師左之通

上林岸順 上林竹庵 上林平入 上林味卜 上林春生 上林三入 永井貞甫

酒多宗有 尾崎有庵 星野宗伯 竹田道雪

御通御茶師

御袋茶 長釜宗味 御袋茶 堀真朔 同 永井仙齋 同 上林平加 同 辻善徳

同 吉村道夕 同 山田友保 同 八島徳庵 御通御茶祝甚三郎

以上

〔茶道筌蹄〕茶師并茶名

上林は元丹波より宇治へ來る人也、公儀の御用を勤むるを御袋茶師と云、次の御用を勤るを御通茶師といふ、其次を次茶師といふ、其外は木幡大鳳寺也。

御物茶師

上林六郎 宇治○茶錄略、以下名下亦同 同 又兵衛 同 味卜 同 春松 同 平入 酒多宗有 尾崎有庵

星野宗以 上林三入 堀真朔 長茶宗味 辻善徳

右は御物茶師之分

御袋茶師